

令和7年度 学校経営方針・教育目標

(1) 徳島県の教育基本方針（徳島教育大綱）

個性と国際性に富み、夢と志あふれる「人財」の育成

「人財」の具体像 「果敢に挑戦する人財」

「新たな価値を共創する人財」

「地域のために行動する人財」

(2) スクール・ミッション

「ビジネス・食・アパレル・福祉」に関する専門的な知識・技術を習得するとともに、実社会で活躍するプロによる講習や地域行事への参加など体験活動を通して、幅広い視野を持って地域社会に貢献するために必要となる力を育成します。

(3) 本校の教育目標

「誠実」「進取」「友愛」の校訓のもと、自主・自立の精神と豊かな人間性を持ち、地域社会に貢献するために必要な力を育成する。

(4) スクール・ポリシー

商業科

【育成をめざす資質・能力に関する方針】

- ①ビジネスを理解し、実践する力を育成します。
- ②職業人としての豊かな人間性を育成します。
- ③他者とコミュニケーションを図り協働する力を育成します。
- ④I C T活用の実践力をつけ、情報発信する力を育成します。

【教育課程に関する方針】

- ①ビジネスの様々な場面で、役に立つ知識と技術を学習します。
- ②ビジネスに関する具体的な課題の解決策を考える学習活動を行います。
- ③職業資格の取得などを通して、自ら学ぶ意欲を高める学習活動を行います。
- ④地域や産業界および高等教育機関と連携したキャリア教育を実施します。

【入学者の受入れに関する方針】

- ①時間を守り、挨拶や日々の清掃活動が確実にできる生徒を募集します。
- ②職業人としての基礎となる倫理観や道徳心をそなえている生徒を募集します。
- ③入学後、学校活動の中心となって活躍する生徒を募集します。
- ④学業と部活動の両立を果たす熱意のある生徒を募集します。

家庭科（食物科・生活文化科）

【育成をめざす資質・能力に関する方針】

- ①知識・技術の習得に向けて根気強く取り組む力を育成します。
- ②専門科目の実習を通して、コミュニケーション力を育成します。
- ③調理師として必要な知識・技術を身に付けます。（食物科）
- ④食関連分野で活躍できる力を育成します。（食物科）
- ⑤ファッション関連分野で活躍できる力を育成します。（生活文化科）
- ⑥阿波藍の普及・活性化に取り組む力を育成します。（生活文化科）

【教育課程に関する方針】

- ①各学年において、各種検定の資格取得に取り組みます。
- ②1年で日本料理、2年で中国料理、3年で西洋料理を学びます。（食物科）
- ③プロの料理人の先生が指導する調理実習が毎週あります。（食物科）

④2・3年生で校内施設での集団給食実習を行い、実践力を養います。(食物科)

⑤卒業と同時に調理師免許を取得します。(食物科)

⑥藍の栽培や藍染め実習を実施します。(生活文化科)

⑦3年生でファッションショーを実施します。(生活文化科)

【入学者の受入れに関する方針】

①知識・技術の習得に向けて、根気強く取り組める生徒を募集します。

②調理が好きなど、食に興味・関心のある生徒を募集します。(食物科)

③将来、食関連分野で働きたいと思う生徒を募集します。(食物科)

④アパレルに関して強く興味・関心のある生徒を募集します。(生活文化科)

⑤阿波藍に興味があり、意欲的に取り組む生徒を募集します。(生活文化科)

福祉科

【育成をめざす資質・能力に関する方針】

①自ら考え行動し、科学的根拠に基づいた介護を提供できる力を育成します。

②尊厳と自立を支えるケアを実践できる力を育成します。

③適切なコミュニケーション方法を用い、相手を思いやる気持ちを育成します。

④地域福祉に貢献できる行動力を育成します。

【教育課程に関する方針】

①介護実習を通じ、利用者本位の介護の視点を養います。

②食事や入浴など、日常生活を支える専門的な知識や技術を学びます。

③介護福祉士国家資格取得を目指します。

④介護施設等で行われている医療的ケアについて学びます。

【入学者の受入れに関する方針】

①介護や福祉に関心を持ち、意欲的に学習に取り組める生徒を募集します。

②相手を思いやり、他者の気持ちに立って考えられる生徒を募集します。

③何事にも真摯に努力できる生徒を募集します。

(5) 本年度の重点目標

～柔軟な思考力としなやかに生き抜く力を身につけた人財の育成～

「自己を知る・認める・磨く」「他者とつながる・よりそう・歩む」

①生徒の個性や能力をしっかりと承認し称賛する

②生徒同士のつながりを基盤に生徒自身の力で自走させていく

③地域からの信頼に応え続けられる学校にする

④全ての教育活動で最大限の効果を生むために協働する

(6) 本年度の具体的取組

①学習意欲の向上と基礎学力の定着、専門分野の知識・技術の確実な習得を図る。

②基本的生活習慣の確立と主体的な規範意識の醸成を図る。

③多様性への理解を深め個々の人権を尊重するとともに、支え合う人間関係の構築を図る。

④SDGs推進・主権者教育・消費者教育の充実を図り、国際的視点と社会的実践力を育成する。

⑤家庭や地域社会との連携・協働により、地域とともにある学校づくりを推進する。

⑥教育DX(デジタルトランスフォーメーション)を推進し、革新的で魅力ある教育活動を創造する。

⑦「学校における働き方」と「教職員のコンプライアンス」を認識し、信頼される学校づくりに努める。